

大乘院だより

Vol.9

仏教のまごころを、あなたへ

竹有上下節

一止、正

年末から新年にかけて、一層厳しい季節を迎える北の大地。毎年の事ではあります。今年の雪は・・・と気を揉まれている方もいらつしやるのではないのでしょうか。

そんな北の大地ではあまり見かける事無い「竹」には「竹有上下節」という禅語があります。「竹に上下の節あり」、どんなに仲が良くてもそれぞれの立場や考え方があり、礼儀や節度を守らないと社会の調和は保たれないという意味なのです。か、の松下幸之助は少し違った角度で表現し

ています。

『竹に節が無ければとりとめがなくて風雪に耐えるあの強さは生まれてこない。だからフシは必要なのだろう。同様に流れる歳月もとりとめもなく過ぎていきがちな日々。せめて年に二回はフシを作って、身辺を整理し長い人生を耐えるチカラを養いたい。そういう意味でお正月は意義深く、おめでたくて、心もあらたまる。』昨年あまり満足できなかった方は、心配を安心に、不安を希望に蘇らせる節目に、昨年満足出来た方は慢心を改めて謙虚にまた一から精進する節目に。歩いては止まりを繰り返す度に節目を作るからこそ「竹」のように強くしなやかな心は育つのかと思います。善かったことも悪かったこともフシに「止」めて、また「二

「正」月をお過ごし頂けたらと願っております。

自他一如



共命鳥（ぐみようちょう）という一つの身体に二つの頭という双頭鳥が極楽に住んでおります。頭が二つあるが故、考えに相違が生まれ、ついには片方が相手を困らせようと毒入り饅頭を食べさせました。食べた方は苦しみました。食べさせた方も同様に苦しみました。考え方、生き方は違えど、のちはずながつている。「自他一如」とは自己と他己、「いのち」は単独で存在するのではなく、互いに関わりを持つています。他を滅ぼすことは自分を滅ぼすことになり、他を生かすことと己を生かすことにつながると

いう、いのちの理を自覚することが求められます。

1014・縁

二刀流のスーパースター大谷翔平選手の去就が遂に決まりました。日本ハムファイターズへの入団、エンゼルスでの挑戦、そしてドジャースで新たな伝説へ。すべて12月9日に発表しているのにも何か特別な意味があるのかもしれない。総額10年1014億円。途方もない金額にただただすごいと思えませんが、私の誕生日（10月14日）という数字に勝手に縁を感じております。彼の活躍はまさに「投打一如」と言えるでしょう。ですが今年はずいぶんおかげで「投」の面は見ることが出来ません。それでも「打」の面で我々を驚かせてくれると期待しております。さあ、新たな節目です。本年も阿弥陀様、御先祖様に喜ばれますようお願い申し上げます。お願ひ申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

国安寺院代 隆道 合掌

大乗院へいつでもお気軽にお越しください。

誰もが気軽に立ち寄れる大乗院になるよう、小さなお子様からご高齢の方々と日々の交流の場となる事を願っています。



世界一の大鑿（だいきん）

国家の安泰、平和の成就を祈念し「国安平和の鐘」と呼ばれています。日本テレビ系列の「ゆく年、くる年」(平成2年除夜)をはじめ数々のテレビ放送で紹介されました。



新納骨堂玄関

駐車場から玄関入り口にかけて段差のないバリアフリー対応となっており、室内鑑苑へはエレベーターでご移動する事ができます。



新納骨堂ご休憩所

室内は開放的なつくりとなっており、窓からは四季折々の景色を眺める事が出来ます。ソファもご用意しておりますのでゆっくりとお時間をお過ごし頂けます。



新本堂 納骨堂

ご家族の形態にあわせて様々なタイプの納骨堂をお選び頂けます。また、ほぼ全ての納骨堂に永代供養料が含まれているため、将来的な後継者問題や、残された御家族への負担も御座りません。



新本堂

広々とした開放的な本堂では年間を通して様々な法要を行います。ドーム型となっており、法要後にコンサートや寄席など地域の皆様や人々のいこいの場として様々な活動を作っています。



永代供養塔

四季の自然に囲まれた供養塔では御遺骨を合祀安置し、永久に亘りご供養致します。



永代供養塔より眺める景色

札幌市街を一望できます。夜景と星空のコントラストにより心に残る景色を満喫頂けます。

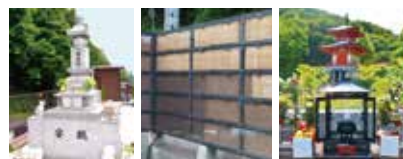


新宮の森霊園墓所

全てのタイプに永代供養がついた墓石型の屋内霊園です。春夏秋冬を通じて天候を気にせずに快適にお参りが出来る開放的な空間です。

～ペット合祀墓～

大乗院のペット合祀墓、納骨堂は愛する家族の一員であるペットを自然の中で眠らせることができる好環境です。



**見学随時
受付中!** 終活、墓じまい、
仏事のことなど何でも
お問い合わせください。

宮の森 大乗院
札幌市中央区宮の森1263-13

TEL. **011-621-0150**
Mail yakuou@triton.ocn.ne.jp